

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	がん看護学特講演習 Seminar/Practice in Cancer Nursing			担当 教員	鈴木 志津枝 安藤 悦子 (専 任)	
開講年次	1～2	単位数	6単位	科目分 類	専門科目 実践看護学	授業形態	実 習	
選択必修	選 択	時間数	270時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		<p>さまざまな病期、病態のがんをもち入院、通院でがんとともに生きる人とその家族をケアする実習を通じて、専門的な知識と経験を積み重ねるとともに、がん看護学領域の専任教員のスーパービジョンを受けながら、がん看護専門看護師に必要な高度な実践能力やケア開発能力、倫理的判断能力、教育、相談、他職種との連携・調整能力の開発を目指して演習や実習を行う。また、その中で、がん看護の課題を追究し、研究につなげていく。</p>						
授業のキーワード		がん看護専門看護師，高度な看護実践，コンサルテーション，調整，教育，研究，倫理調整						
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画							
	<p>I．実習</p> <p>1．さまざまな臨床問題をもつがん患者を受け持ち、直接ケアの提供を通して、専門的な知識と経験を積み重ねるとともに、がん看護学領域の専任教員及びがん看護専門看護師（がん看護専門看護師相当の臨床指導者）の指導を受けながら、がん看護の専門性を発揮させ専門看護師に必要な高度看護実践能力やケア開発能力を培っていく。</p> <p>2．がん看護専門看護師の指導のもとに、実際のがん看護専門看護師の活動を体験し、がん看護専門看護師の役割（高度な実践、コンサルテーション、調整、教育、研究、倫理調整）を学ぶ。そして、自らの専門看護師としての活動のあり方を探求する。</p> <p>3．複雑で対応困難な問題をもつがん患者や家族に対して、専門知識や技術を用いて個別的なケア計画を立案し、看護師とともに実践を行う。さらに、がん看護学領域の専任教員およびがん看護専門看護師（がん看護専門看護師相当の臨床指導者）の指導を受けながら、病棟看護師への教育、コンサルテーション、他職種との調整、倫理問題の調整の試みを行い、がん看護専門看護師としての役割を開発する。</p> <p>II．ゼミ・カンファレンス</p> <p>教員やがん看護専門看護師との個人カンファレンス 教員と院生とのグループカンファレンス（実習体験の共有とディスカッション） 臨床の場での関係者とのカンファレンスや緩和ケアチームでの事例検討の機会を 設け、実習体験を深める。</p>							
テキスト	実習の詳細は実習要項を参照のこと							
参考文献								
成績評価の方法	<p>1．実習目標の達成度（80%）</p> <p>2．出席・取り組みの姿勢（10%）</p> <p>3．記録物：日々の実習記録、複雑な問題を持つ患者・家族への援助に関するケースレポート、教育（勉強会）のために作成した資料、相談事例、調整事例、倫理調整事例の記録など（10%）</p>							
教員から学生へのメッセージ								